

熊本県立劇場 指定管理者 令和4年度（2022年度） 管理運営評価票
 所管部局：企画振興部地域・文化振興局文化企画・世界遺産推進課

I 施設の管理概要

指定管理者名	公益財団法人熊本県立劇場
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設概要	1 目的：県民の文化の振興 2 施設概要 ・コンサートホール 収容定員1,810人 ・演劇ホール 収容定員1,172人 ・大会議室 収容人員162人（机・椅子使用時）、380人（椅子のみ使用時） ・その他 和室、リハーサル室、第1～3練習室 駐車場（普通車496台、バス5台）、駐輪場（約150台）
指定管理料	411,862,000円（令和4年度分）

II 管理運営の評価

1 管理運営業務の水準

管理業務の水準の指標	目標値	実績値	差	備考
県劇入場者数	540,000人	382,131人	△157,869人	対前年度 +168,410人
文化事業入場者・参加者数	28,615人	35,743人	+7,128人	対前年度 +15,865人
コンサートホール利用率	73.0%	76.3%	+3.3ポイント	対前年度 +30.2ポイント
演劇ホール利用率	81.0%	76.6%	△4.4ポイント	対前年度 +15.8ポイント

2 管理運営業務実施状況

(1) 施設維持管理業務実績

作業項目		実施頻度	備考	
業務名	業務内容			
清掃業務	日常清掃	事務室等 6 項目	使用のつど ~ 1 回 / 1 ~ 2 日	仕様書に沿って適正に実施 工事期間等は除く。以下同じ
	定期清掃	事務室等 4 項目	2 回 / 月 ~ 4 回 / 年	仕様書に沿って適正に実施
高所清掃業務	ガラス清掃	—	4 回 / 年	仕様書に沿って適正に実施
水質管理	水質検査 (市水)	残留塩素測定等 3 項目	1 回 / 週 ~ 年	検査結果問題なし
	受水槽等清掃		1 回 / 年	仕様書に沿って適正に実施
環境測定	空気環境測定	40カ所	6 回 / 年	測定結果問題なし
衛生管理	特定建築物維持管理実績報告		1 回 / 月	仕様書に沿って適正に実施
	害虫駆除		2 回 / 年	仕様書に沿って適正に実施
	汚水ピット清掃		2 回 / 年	仕様書に沿って適正に実施
警備業務	常駐警備業務		全日	仕様書に沿って適正に実施
	駐車場整理業務		必要時	仕様書に沿って適正に実施
設備維持管理	総括管理・運転監視、日常巡視点検	設備 40 項目	1 回 / 週 ~ 8 回 / 年	点検結果問題なし
	高圧受電設備保安点検		1 回 / 年	点検結果問題なし
	非常用発電機	法定点検等 2 項目	1 ~ 2 回 / 年	点検結果問題なし
	電気設備点検	法定点検等 4 項目	1 ~ 2 回 / 年	点検結果問題なし
	空調設備保守点検	ヒートポンプチラー等 16 項目	1 / 月 ~ 4 回 / 年	点検結果問題なし
	中央監視装置・自動制御機器保守点検		中央監視装置総合 1 回 / 年 空調機器 1 回 / 年 他	点検結果問題なし
	昇降設備保守	エレベーター 4 基	4 回 / 年	点検結果問題なし
	消防用設備保守点検	自動火災報知機、消火器、誘導灯他	総合点検 1 回 / 年 外観点検 2 回 / 年 他	点検結果問題なし
	防火設備定期検査		1 回 / 年	点検結果問題なし
	建築設備定期検査		1 回 / 年	点検結果問題なし
	特定建築物等定期検査		1 回 / 3 年	仕様書に沿って適正に実施
	特定防火対象物報告		1 回 / 年	点検結果問題なし
	自動ドア保守点検		4 回 / 年	点検結果問題なし
	煤煙測定業務		2 回 / 年	仕様書に沿って適正に実施
	給湯ボイラー保守点検		1 回 / 年	点検結果問題なし
	緊急ガス遮断装置保守点検		2 ~ 3 回 / 年	点検結果問題なし
その他の設備維持管理	有料駐車機保守点検		4 回 / 年	点検結果問題なし
	施設予約管理システムソフト保守		問題発生時	仕様書に沿って適正に実施
	舞台吊物保守点検		3 回 / 年	点検結果問題なし
	舞台迫り保守点検		3 回 / 年	点検結果問題なし
	舞台照明システム保守点検		2 回 / 年 + 問題発生時	点検結果問題なし
	舞台音響システム保守点検		2 回 / 年 + 問題発生時	点検結果問題なし
楽器類保守点検	ピアノ	4 種類	1 回 / 年 + (調律 3 回 / 年)	仕様書に沿って適正に実施
	チェンパロ		1 回 / 年	点検結果問題なし
一般廃棄物	廃棄物処理業務		日曜、祝祭日を除く毎日	仕様書に沿って適正に実施
植栽等管理	樹木管理業務	駐在作業等 9 項目	随時 ~ 3 回 / 年	仕様書に沿って適正に実施
その他	トイレ洗浄器		1 回 / 2 ヶ月	仕様書に沿って適正に実施
	玄関マット等交換		1 回 / 2 週	仕様書に沿って適正に実施
	貸植木メンテナンス		1 回 / 月	仕様書に沿って適正に実施
【点検・調査結果及び評価】				
・維持管理業務は適正に実施されており、安全・清潔・快適な劇場の施設・設備の提供が行われた。				

(2) 文化事業の実績

I 創造拠点事業

1) 実演芸術に係る人材の育成や確保を行う事業

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
劇場人育成プログラム				
6/8(水) 大会議室	概論 「これまでの文化行政、 これからの文化行政」	東京大学大学院の小林真理教授を招き実施。 昨年度同様、対面とオンラインを併用すること で、多くの市町村担当者が参加し、地方における 文化行政の課題や展望について、事例を交えた話 を興味深く聞いている姿が見られた。	無料	73
6/14(火) 大会議室	接遇 「ホールスタッフに 求められるスキル」	講師に全国公立文化施設協会支援員の渡部久美 氏を招き実施。 施設の受付担当だけでなく、舞台スタッフの応 対等についても丁寧な説明があり、午後からはプ ライオリティゲスト対応として、車椅子の使用方 法や坂道、段差時の対応など体験を交えて学んだ。	無料	23
9/29(木) 演劇ホール	舞台技術(1) 安全管理	札幌文化芸術劇場の伊藤久幸氏、野村吏氏、齋 藤玲氏を講師に招き、各市町村ホールの担当者ら が受講。 日常作業でよく使うワイヤー、ロープ、釘、ス クリュー、カラビナなどの耐荷重を確認する実験 映像を視聴後、劇場のバトンに見立てた単管の耐 荷重を確認する実験を見学。ハーネスにつられる 体験、関係法令を学ぶ等のプログラムを行った。	無料	30
10/18(火) コンサートホール ホワイエ	災害対応、BCP 「自然災害の備えと BCP」	MS&AD インターリスク総研から本間基照氏を講 師に招き、自分の地域の自然災害に関するリスク 確認から具体的な対応について講座を受けた後、 3つのグループに分かれて業務継続計画(BCP)を 考えるワークショップを行った。	無料	31
11/11(金) 大会議室	認知症サポーター 養成講座 障害者サポーター研修	公共ホール職員を対象とした接遇スキルアップ 研修を実施。 県立劇場近くの地域包括支援センター(ささえ りあ子飼・白川・帯山)と熊本市障がい者相談支 援センターウイズから、地域を支える介護と福祉 の専門家が講師を務めた。 取材：熊日	無料	26
R5. 1/17(火) 中会議室	広報(1) SNS 入門 広報(2) チラシ制作を考える	午前は、講師に(株)TAS ARTの田崎新二氏を招 いた主流のSNSとその特徴についての説明の後、 ウェブ広告のメリットについて解説を行った。 午後は、デザイナーの石井克昌氏が自身の作例 をもとに、デザインの持つ効果と、依頼する上での 注意点について解説した。	無料	34

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
R5. 2/2(木) 演劇ホール	舞台技術(2) 照明ステップアップ 講座	北九州芸術劇場照明・映像チーフの大久保望氏を招き、午前は改修工事について、午後はLED照明の機材紹介や、LED照明とコンベンション照明の点灯する際のカーブの違い、同軸で使用する場合のカーブの修正方法等、実際に卓を使って体験し、カーブの違いを学んだ。 またLED照明の他、劇場における働き方等様々な面からディスカッションを行い情報共有と意見交換を行った。	無料	20
R5. 2. 4(土) 大会議室	基礎から学ぶ 著作権講座	骨董通り法律事務所(東京都)より著作権法の第一人者である福井健策弁護士を招いて実施した。事例を交えた分かりやすい説明に、受講者は熱心に聞き入っていた。 本講座は公開講座として実施。芸術文化団体、文化施設関係者のほか、公告・マスコミ関係者、教員、公務員等日頃から著作権に関わる人の参加が多く見られ、質疑応答では著作権に関する多くの質問が出た。 取材：熊日	無料	89
バックステージツアー事業				
8/9(火) コンサートホール	After school choice 龍田校	劇場スタッフのナビゲートでコンサートホールの仕組みについて学んだ。普段は入ることや見ることでできない音響・照明の調整室では、舞台スタッフの指導のもと機材に触れ、BGMや効果音を出したり、色を混ぜて作った照明をステージに当てたりする体験を行った。 最後は、舞台上でスポットライトを浴びる出演者の気持ちを味わう体験も行った。	無料	14
10/5(水) コンサートホール 演劇ホール	熊本市教育支援センター 「フレンドリー あいぱる大江教室」 &オンライン学習 支援「フレンドリー オンライン」	不登校の子どもたちの社会的な自立支援を目的としている同教室から3年目の参加。 今年は、教育ICTを活用したオンライン学習支援「フレンドリーオンライン」の子どもたちも加わり、自宅から参加した。 来館参加とオンライン参加の子どもたちをハイブリッドに受け入れ、コンサートホールの音の響きを体感した後は、演劇ホールに移動し、舞台機構、音響、照明についてスタッフから説明を受け、機材に触れる体験を行った。	無料	97
12/7(水) コンサートホール	熊本市立託麻原小学校	2年生の生活科「公共施設を利用する際のマナーやルールを学ぶ」の授業の一環として昨年に引き続き2回目の実施。 施設全体の事やコンサートホールの特性を知るための映像を見た後、劇場のマナーチラシを活用した鑑賞マナーを行った。 質問コーナーでは、児童の質問にコンシェルジュが丁寧に答えた。	無料	124

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
12/17(土) 演劇ホール	行くぜ! 劇場探検隊(全2回)	劇場や舞台芸術に興味を持ってもらおうと、演劇仕立てのバックステージツアーを開催。 子どもたちは、劇団きららの団員が扮する探検隊チームの一員として舞台裏を探検し、音響体験・照明体験・迫に乗る体験などを楽しんだ。また、今年からピンルームを回るようにしたため、参加者の満足度も高かった。 取材：熊日	大人 1,000円 子ども 500円	60
R5.1/18(水) コンサートホール 演劇ホール	熊本デザイン専門学校	建築・インテリアデザイン科の1年生が参加し、劇場建築の工夫、モダニズム建築家 前川國男の世界観を体感。コンクリート壁(矢羽模様)やタイル床(吉原つなぎ柄の模様)などのこだわりと美しさの紹介に続き、性質の異なる「コンサートホール」と「演劇ホール」の機構の違いを説明。最後は、ホールに音が影響しないよう地下に収納し、空調や電気の機器類を制御している中央監視室を見学した。	無料	26
R5.2/3(金) コンサートホール 演劇ホール	熊本大学大学院 先端科学研究部建築 音響研究室	建築環境工学演習の授業の位置づけで行われた。劇場スタッフの説明に加え、同研究室の川井教授が専門家として補足をしながらコンサートホールや演劇ホールの建築の特性、表動線と裏動線の工夫について講義した。	無料	13
R5.3/12(日) 演劇ホール	放課後等デイサービス 果実の木	3つの教室の小学1年生から中学3年生が参加。演劇ホールならではの舞台機構や仕掛け、照明、音響を学んだ。音響や照明の体験では、舞台スタッフの説明を受けながら、仕込んであった効果音や照明効果をフェーダーやiPadを操り、思い思いに表現し、ステージいっぱいを使い、ダイナミックに音響や照明の操作を楽しんだ。	無料	37
R5.3/24(金) コンサートホール 演劇ホール	熊本大学大学院 先端科学研究部 田中智之教授 (株)富坂建築設計部	本大学の田中智之教授(建築学)と地元建設会社の設計部が劇場建築について学ぶツアーを実施。歌舞伎からオペラまで上映できる演劇ホールの多機能な構造を見た後、劇場内のインフラを制御している中央監視室で職員から説明を受けた。 また、建築家 前川國男の細部までこだわった壁や柱、床の模様や内装、インテリアの色、時代に合わせた改修工事の工夫などを学んだ。	無料	11
舞台技術の基礎講座				
5/4(水祝), 5(木祝) 演劇ホール	舞台技術の基礎講座	(有)ステージ・ラボの潮田氏を講師に招き、演劇部などの生徒・学生を対象に照明・音響・舞台を学ぶ講座を実施した。 「The ちゃぶ台」によるプロの演劇公演を観劇するとともに、裏方の仕事について、花道や舞台上の客席設置、卓の操作など、学習並びに体験活動に取り組んだ。 受講者は意欲的に参加し、アンケートでも満足度の高さがうかがえた。 取材：熊日	1,000円	74

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
6/11(土) 演劇ホール	舞台技術の基礎講座 音響編	<p>舞台技術の基礎講座（音響編）として、熊本県高等学校系音楽連盟と共同で、音響に特化した講座を実施した。</p> <p>講師に（株）ヤマハミュージックジャパンの滝澤真二氏、（株）大谷楽器の盛一英之氏を招き、スピーカーの種類や効果的な使用方法、ケーブル接続やサウンドチェックなどについて学んだ。今回は参加者が多かったため、体験を交えることができなかったが、丁寧な説明に、講座の満足度は高かった。</p>	無料	162
ジュニアオーケストラ事業				
9月～R5.3月 第1練習室ほか	ジュニア/ユース オーケストラ練習	<p>小中学生を対象に管弦楽の演奏機会を提供する事業。熊本ユースシンフォニーオーケストラと共同で取り組んだ。</p>	—	1,095
東京藝術大学音楽学部「早期教育プロジェクト」				
8/11(木祝) コンサートホール	ピアノ部門	<p>国内トップレベルの教授らによるレッスンを、地方で受けられる東京藝術大学音楽学部との共催事業。</p> <p>5年目を迎える今年は、部分利用を活用しコンサートホールにて実施。</p> <p>受講者5名が野原みどり准教授によるレッスンを40分受講し、最後に演奏を披露。また、同大在学中の西川響貴氏による演奏を聴き、実りある時間を過ごした。</p>	無料	54
ホワイエサロンコンサート				
5/21(土) コンサートホール ホワイエ	Vol.1 有島京&伊藤悠貴 デュオリサイタル	<p>ホワイエを舞台としたコンサートシリーズの第1弾として、熊本出身のピアニスト有島京と、チェロ奏者の伊藤悠貴によるデュオリサイタルを開催。窓から覗く新緑をバックに、約1時間の瑞々しい演奏を届けた。</p> <p>アンケートでは「ホール客席では味わえない素晴らしい演奏でした」「背後の樹々の緑と空が美しく、素晴らしい演奏と相まって心地よい時間を過ごせました」等の感想が寄せられた。</p> <p>取材：熊日</p>	[自由] 3,000円	159
8/27(土) コンサートホール ホワイエ	Vol.2 藤原道山	<p>藤原道山（尺八）と青山政憲（ピアノ）が古典やオリジナル曲、ジャズなどを約1時間演奏した。チケットは完売し、満席の観客が演奏を楽しんだ。</p>	[自由] 3,000円	183

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
R5. 1/29(日) コンサートホール ホワイエ	Vol. 3 オリジナル音楽朗読劇 「子供の情景」	観客は、シューマン作曲「子供の情景」をベースに今回のために書き下ろされたオリジナル脚本を、人気声優たちの朗読とピアノの生演奏で楽しんだ。 これまで熊本県立劇場に足を運ぶことが少なかった県内外の若年層も多く来館。今後もこのような公演を続けて欲しいとの声が多く聞かれた。	[自由] 4,000円	183
R5. 3/4(土) コンサートホール ホワイエ	Vol. 4 KENTA×松本和将 デュオリサイタル	熊本県出身のヴァイオリニスト KENTA とピアニストの松本和将による演奏会。スタンダードなクラシック音楽のほか、ピアソラ作曲「リベルタンゴ」や KENTA 作曲「ひかり」などを演奏。初めてクラシック音楽の演奏会に来たという観客も少なくなかったが、迫力ある演奏と楽しいトークで会場全体を惹きこんだ。	[自由] 3,000円	192
創造拠点事業 1) 計				2,810

2) 地域の公立文化ホールや文化団体を支援する事業

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
アートキャラバンくまもと				
4/24(日) コンサートホール	ハウス食品グループ ファミリーコンサート	指揮に竹本泰蔵を迎え、九州交響楽団の演奏により実施。ハンガリー舞曲第5番やチャールダッシュ、「カルメン」前奏曲などクラシックの名曲を、解説を交えて披露し、第二部ではアニメ映像を見ながら生オーケストラが演奏し、会場を大いに盛り上げた。 「熊本を音楽で応援♪」と題し、県内在住者100名限定での招待があり、アートキャラバンくまもと事業として県立劇場が募集・発送業務等を行った。	—	618
9/20(火) 人吉カルチャーパレス	国際音楽交歓 コンサート	ロシア・モスクワ音楽院の卒業生、研修生ら7名によるガラクラシックコンサートを行った。集まった観客は親しみやすいクラシックの名曲の数々に聞き入った。 アンコールでは、人吉出身の作曲家犬童球溪の「旅愁」が演奏され、観客は大いに盛り上がった。	無料	300
9/21(水) 人吉市立西瀬 小学校	国際音楽交歓コンサ ート 関連企画	全校児童を対象に、国際音楽交歓コンサートに出演した演奏家4名によるスクールコンサートを開催した。子どもたちにとって、なかなか接する機会のない外国人演奏家との交流は、貴重な体験となった。演奏の最後にはスペシャルゲストとしてくまモンが登場し、会場を大いに沸かせた。	無料	206

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
R5.1/9 (月祝) コンサートホール	音楽のおくりもの	コロナ禍の中、子どもたちが音楽と触れ合う機会を創出しようと熊本県が企画したコンサート。県からの追加委託事業として実施した。県内の弦楽器奏者で構成する「熊本ミュージックアーティスト」のほか、箏の小路永和奈、ソプラノの赤池優らが出演。クラシック曲や映画音楽などを聴かせた。 関連企画として、県内児童養護施設等でのミニコンサートも実施した。	無料	1,530
通年	ぴっころシート事業	舞台芸術に触れる機会の少ない児童養護施設の子どもたちなどを劇場主催・共催公演に招待する事業。今年度は7公演に157人を招待した。 ※参加者数は各公演の欄に計上	—	—
市町村ホールネットワーク事業				
5/15(日) 菊池市 泗水ホール	三遊亭好楽落語会	人気テレビ番組「笑点」でお馴染みの三遊亭好楽と県出身の三遊亭好吉による落語会。好楽は「一眼国」を、好吉は「親子酒」を披露した。好吉が6月の真打昇進を報告する一幕もあり、観客からは大きな拍手が送られた。	[指定] 2,000円	302
9/10(土) 益城町 文化会館	春風亭一之輔独演会	高い人気を誇る落語家、春風亭一之輔の全国ツアー「ドッサリまわるぜ2022」を開催。枕で始まり、「金明け」「桃太郎」「粗忽長屋」「青菜」と四席を披露。 全国ツアーを熊本で開催するのは初めてで、県内のみならず県外からの来場者も目立った。	[指定] 3,700円	322
9/17(土) 宇土市民会館 ぴっころシート 1里親家族 4人	鼓童ワン・アース・ ツアー2022～ 童	新潟県佐渡市を拠点に活動する太鼓芸能集団鼓童による全国ツアーの宇土公演。熊本では3年ぶりとなる公演を心待ちにしていたファンも多く来場し、ホール全体に響く迫力ある太鼓の力強い音やリズムを楽しんだ。	[指定] A 一般 5,000円 A 学生 3,500円 B 共通 2,500円	516
10/16(日) 菊陽町 図書館ホール ぴっころシート 1里親家族 3人	絵本 de クラシック	トラベル・ブラス・クインテット+の演奏による絵本の朗読コンサート。 テレビアニメ「ONE PIECE」のナミの声で活躍する岡村明美が「ブレーメンの音楽隊」の朗読を行った。ジャズの曲では体を動かしたり手拍子で参加する様子も見られた。	[指定] 大人 2,000円 子ども 1,000円	457
10/30(日) 御船町 カルチャー センター	絵本 de クラシック	また、両会場とも親子連れが多数来場し、子どもたちも公演を楽しんだ。	[指定] 大人 2,000円 子ども 1,000円	243

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
11/23 (水祝) 荒尾総合 文化センター	藤原道山×SINSKE	尺八演奏家の藤原道山とマリンバ奏者の SINSKE によるコンサート。ピアソラの作品を中心に、クラシックやオリジナル曲など多彩なプログラムを演奏し、会場に大きな拍手が送られた。 取材：有明新報社	[指定] 一般 2,000円 高校生以下 1,000円	350
R5. 1/14(土) 菊陽町図書館 ホール	和楽器演奏集団独楽	和太鼓・箏・篠笛・津軽三味線による演奏会。和太鼓演奏のほか、県出身の本田浩平と山下靖喬（共に津軽三味線）がゲスト出演し、迫力の演奏を届けた。技巧を凝らした演奏の数々を披露するたびに、観客席からは大きな拍手が送られた。	[指定] 大人 1,000円 子ども 500円	261
R5. 1/15(日) 牛深 総合センター	和楽器演奏集団独楽	前日の菊陽町公演同様、力強い太鼓の音と、艶やかな歌に観客は聴き入っていた。 アンコールでは「牛深ハイヤ節」が披露され、馴染みの曲に会場からは歓声があがり、一番の盛り上がりを見せた。	[自由] 1,500円	271
R5. 1/15(日) 天草 市民センター ぴっころシート 1施設2人	絵本のじかんだよ！	俳優の小林顕作が、スクリーンに投影された絵本のイラストにあわせ、朗読を行った。 子どもたちが飽きないよう多くの工夫が施されており、子どもだけではなく、保護者も公演を楽しんでいた。	[自由] 大人 1,000円 子ども 500円	340
R5. 2/4(土) 水俣市 文化会館 ぴっころシート 1施設15人	あべや	民謡や三味線、舞やトークを観客は楽しんでいた。「牛深ハイヤ」や「おてもやん」の時には手拍子が自然と生まれ、声は出せないながらも、一体感のある雰囲気にも包まれた。 当日券の購入も多く、地域の福祉施設等にも公演案内をしたところ、多くの住民が来場した。	[自由] 一般 1,000円 高校生以下 500円	356
R5. 3/5(日) ウイング まつばせ	三遊亭好楽落語会	人気テレビ番組「笑点」でお馴染みの三遊亭好楽による落語会。令和4年6月に真打に昇進した三遊亭好一郎が「親子酒」、前座である好好が「宮戸川」、好楽が「つる」を披露。「生で見られてとてもよかった」などの声もあり、会場は笑いに包まれていた。	[指定] 1,500円	316
舞台芸術コーディネーター事業				
10/20(木) コンサートホール	熊本大学教育学部 附属中学校 「附中文化の日 芸術鑑賞会」	和楽器演奏集団 独楽（和太鼓・箏・篠笛・津軽三味線）による演奏会をコーディネートした。和太鼓や箏の演奏のほか、県出身の本田浩平（津軽三味線）の演奏を披露。 体験コーナーでは生徒8名が太鼓の演奏を体験した。生徒たちは、太鼓に触れ、興味がさらに深まった。	無料	477

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
12/3(土) 芦北町 地域活性化 センター	復興支援 芦北町演奏会	チアーズ・トリオ（登録アーティストによるアンサンブル）の演奏会をコーディネートした。日本歌曲からクラシック曲まで、幅広いプログラムを披露した。観客は多彩で馴染み深い曲の数々に聴き入り、時には身体を揺らしながら楽しんだ。 本演奏会は、芦北町が県立劇場のアウトリーチ事業へ参加したことをきっかけに実施。今回出演したチアーズ・トリオのメンバーである亀子政孝（コントラバス）と春日香南（クラリネット）も、同町でアウトリーチを実施しており、今回の出演に繋がった。	無料	206
共催事業				
6/23(木) コンサートホール	平成音楽大学 ブラスオーケストラ	新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	—	—
8/28(日) コンサートホール	熊本ユース シンフォニー オーケストラ 第52回定期演奏会	小学生から20歳代の青少年で構成するオーケストラの定期演奏会。グリーグ作曲 組曲「ホルベアの時代から」作品40、レスピーギ作曲 交響詩「ローマの松」、ドヴォルザーク作曲 交響曲8番ト長調作品88を演奏。 「ローマの松」では、明るく爽やかな演奏をより際立たせるように、鳥のさえずりの音源使用等について工夫を凝らした。	[一部指定] 指定 2,000円 自由 1,500円	803
11/5(土) コンサートホール	第60回 熊本県新人演奏会	熊本県文化協会が実施。今回は記念特別演奏としてトランペットの田尻大喜が「トランペット協奏曲」を披露した。出演者はピアノ（6名）、サクソフォン（2名）、トランペット（1名）、ソプラノ（3名）の計13名。それぞれが演奏を披露し、観客はその音色に深く聴き入っていた。	[自由] 1,000円	622
12/8(木) コンサートホール	平成音楽大学 華麗なる音楽の祭典	平成音楽大学主催、同大創立50周年を記念した演奏会。2020～2021年は新型コロナの影響により無観客で開催しており、3年ぶりに県立劇場にて有観客で開催した。 演奏会では、在校生や卒業生など約300人が出演し、ピアノの連弾やミュージカルなどを披露。	[自由] 2,000円	1,400
12/25(日) コンサートホール	熊本県民第九の会 第37回演奏会	熊本県民第九の会によるベートーヴェン/交響曲第9番の演奏会。指揮に水戸博之、ソリストには熊本出身の青柳佑子、岡村彬子らを迎えて実施した。約120名の合唱団が高らかに歌い上げる姿に、集まった聴衆は大きな拍手を送った。 新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続く、今回は3年ぶりの実施となった。	[一部指定] 指定 3,500円 自由 3,000円	1,098

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
文化活動支援事業				
通年 県立劇場 コンサートホール 演劇ホール	文化活動支援事業	県内で活動する文化団体に、県立劇場での会場費相当を上限に助成する事業。 令和4年度は8団体採択していたが、新型コロナウイルスの影響により1公演が中止、2公演は申請団体都合で取り下げとなった。	主催者により異なる	3,723
オハイエくまもと協力事業				
6/5(日) 熊本市 現代美術館	第13回 オハイエくまもと とおきの音楽祭	同音楽祭への協力として、熊本市現代美術館ホームギャラリーでの16組64人が参加した舞台進行全般に関わった。音響機材や譜面台など、コンサートに必要な機材や備品の貸与、進行表作成ならびに進行管理など、劇場が持つノウハウと技術を活かした協力を行った。 3年ぶりのステージ開催で、出演者・観覧者それぞれが思い思いに音楽を楽しみ、会場は大盛り上がりとなった。	無料	300
開館40周年記念事業				
12/2(金) 大会議室	動く劇場～5minutes 上映会とパネル展	ベルリン国立歌劇場管弦楽団公演の開演に先立ち、40周年記念事業の一部をパネルや動画で紹介した。館長のトークショーや県内の文化遺産を舞台に、熊本に縁のあるアーティストがパフォーマンスを披露する動画の第1弾を先行上映した。 取材：熊日	無料	80
創造拠点事業 2) 計				15,097

3) 伝統芸能の継承と発展を支援する事業

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
熊本県芸術文化祭スペシャルステージ ONE PIECE×人形浄瑠璃清和文楽「超馴鹿船出冬桜」				
4/13(水) フェーズ上野 (東京都)	熊本デザイン専門学校 衣装制作 ワークショップ	清和文楽新作のための人形衣装制作ワークショップを開催。人形2体のデザイン及び1体の制作を担う熊本デザイン専門学校の学生が参加した。東京でステージ衣装等を多数手掛ける(株)クリエイティブ・ギルドの井元文子、金子通代とともに衣装生地を選定後、淡路人形座の記虎篤史氏による制作ワークショップを行った。	—	4

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
7/11(月) 演劇ホール	制作発表	11月5日、6日の芸文祭スペシャルステージでの初演される清和文楽新作舞台の制作発表。総合演出・音楽監修の藤原道山、脚本・演出の横内謙介らが登壇し、新作へ向けた意気込みを語った。併せて新作のタイトルである「ONE PIECE×人形浄瑠璃清和文楽 超駟鹿船出冬桜 ちよっぱあふなでのふゆざくら」も発表された。 取材：熊日、読売、朝日、日経、共同通信、NHK 熊本放送局、KKT、TKU、KAB、サンデー毎日	—	100
7/11(月) 第1練習室	出演者オーディション	芸文祭スペシャルステージに出演する市民浄瑠璃隊のオーディション。 総合演出の藤原道山、脚本・演出の横内謙介、清和文楽人形芝居保存会会長片山勇次、清和文楽新作制作事業実行委員会会長坂本美喜雄の4名による審査が行われ、27名が合格した。	—	40
8/16(火)～ 11/4(金) 清和文楽館、 演劇ホールほか	稽古	11月本番の芸文祭スペシャルステージの稽古を行った。一般から公募した市民浄瑠璃やキッズダンサーが集まり、劇団扉座の劇団員や振付師による指導を受けた。 取材：熊日	—	2,113
11/5(土)、6(日) 演劇ホール	ONE PIECE× 人形浄瑠璃清和文楽 「超駟鹿船出冬桜」	「超駟鹿船出冬桜」初演。市民参加者約200名を含む大舞台となった。人形浄瑠璃に現代劇を加えた新たな演出には、清和文楽だけでなく、山鹿灯籠や宇土雨乞い大太鼓など県内の伝統芸能も登場。フィナーレでは客席を桜吹雪が舞い、子どもから大人まで盛大な拍手を送った。 取材：熊日、TKU	[指定] S3,000円 A2,000円	1,790
創造拠点新規企画事業				
通年	新規企画事業	次年度以降の事業に係る調査・研究のため、各地のホール視察や打合せを行った。	—	—
創造拠点事業 3) 計				4,047

II 普及拠点事業

1) 実演芸術を鑑賞する機会を県民に提供する事業

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
小曽根真 featuring No Name Horses				
6/21(火) 演劇ホール	小曽根真 featuring No Name Horses	世界的ジャズピアニスト小曽根真が率いるビッグバンドによるジャズコンサートを実施。国内トップレベルのジャズミュージシャン15名が迫力のある演奏を披露し、観客は大いに盛り上がった。また、本公演は幅広い年齢層の観客が来場。吹奏楽部に所属する中高生の鑑賞も多数あった。 取材：熊日	[指定] S5,000円 A4,000円 B3,000円	1,075
パフォーミングアーツ・セレクション in Kumamoto				
11/27(日) 演劇ホール	パフォーミングアーツ・セレクション in Kumamoto	全国公立文化施設協会が取り纏める統括団体によるアートキャラバン事業(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)の一環としてDance Base Yokohama、愛知県芸術劇場と協働で実施。バレエをルーツとするコンテンポラリーダンス作品を3作品上演。世界でも活躍するアーティスト達が観客を魅了した。	[指定] 3,000円	290
ベルリン国立歌劇場管弦楽団				
11/12(土), 24(木), 30(水)	関連企画 (事前レクチャー)	子ども無料招待を申し込んだ団体のうち、希望があった3団体へ公演鑑賞に係る事前レクチャーを実施。公演の鑑賞マナーやプログラム、指揮者・管弦楽団についてパワーポイントを用いて説明した。参加者は熱心に話を聞き、公演に関する理解を深めていた。	無料	70
12/2(金) コンサートホール	ベルリン国立歌劇場 管弦楽団	県立劇場開館40周年記念のメイン事業として実施。クラシック界最高の指揮者のひとりとして知られるクリスティアン・ティーレマンと、世界最古級にして最高のオーケストラと称されるベルリン国立歌劇場管弦楽団を招いた。 九州では唯一、全国でも熊本・大阪・東京の3か所だけの公演ということもあり、チケットは全席完売した。プログラムはブラームスの交響曲第3番と第4番と、オーケストラの真骨頂ともいえるドイツ音楽で固め、演奏終了後は満席の観客から万雷の拍手が送られた。 取材：熊日	[指定] SS20,000円 S18,000円 A15,000円 B12,000円 C9,000円	1,735

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
星の王子さま				
R5.2/12(日) 演劇ホール ぴっころシート 1 里親家族 3 人	星の王子さま	ダンサー・振付家の森山開次が演出する「星の王子さま」を上演。セリフがないノンバーバル作品で、コンテンポラリーダンス、音楽、舞台美術や衣装で「星の王子さま」の世界を表現した。 チケットは公演の1ヶ月前に完売。KAAT、びわ湖ホール、JMSアステールプラザ（広島市）と続いたツアーの千種楽でもあり、カーテンコールではスタンディングオベーションで大きな拍手が送られた。 取材：熊日	[指定] S4,000円 A3,000円	935
共催事業				
7/17(日) 演劇ホール	第25回熊本 「万作・萬斎の会」	熊本「万作・萬斎の会」が夏季の恒例行事として開催する狂言公演。今年は夏季・狂言の会25周年を記念し、和泉流狂言師の野村万作、萬斎、裕基の親子三代を迎え、狂言「朝比奈」「若菜」を披露した。 また、ハワイエには過去公演のポスターが飾られ、狂言師の深田博治による、みどころや登場人物のキャラクターについて詳しい解説もあった。	[指定] S8,800円 A6,600円 B5,500円 [自由] 3,000円	801
9/17(土) 演劇 ホール	牧阿佐美バレエ団 「ドン・キホーテ」	文化庁アートキャラバン事業として、牧阿佐美バレエ団の「ドン・キホーテ」を上演。子役（キューピッド）は、オーディションにより熊本の子どもたちの中から選抜。 本番に向け、10回程プロのレッスンを受ける機会を設けた。当日は、熊本で上演の機会が少ないプロによるバレエ公演ということもあり大入り。夢のような舞台に、最後まで拍手が鳴りやまなかった。	[指定] S9,000円 A6,500円 B4,000円	930
R5.2/14(火) 演劇ホール ぴっころシート 4 施設 10 里親家族 106 人	劇団四季ファミリー ミュージカル 人間になりたがった猫	劇団四季が贈る、家族で楽しめるミュージカル作品。迫力あるダンスや歌に子どもたちは引き込まれていた。 県立劇場が児童養護施設の子どもたちを招待する「ぴっころシート事業」で、4施設、里親10家族の計106名が鑑賞した。	[指定] S5,500円 A3,300円	1,034
R5.2/27(月) コンサートホール	NHK 交響楽団演奏会 熊本公演	平成30年以来5年ぶりのN響熊本公演。 ベートーヴェンの交響曲第7番をメインに据えたドイツ・オーストリアプログラムで、N響正指揮者の尾高忠明とヴァイオリンソロの辻彩奈、N響メンバーらが端正ながらも迫力ある響きを聴かせた。	[指定] S6,000円 A5,000円 B4,000円 C3,000円	1,628
普及拠点事業 1) 計				8,498

2) 芸術文化に触れる機会を県民に提供する事業

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
知的・発達障がい児(者)向けの劇場体験プログラム「劇場って楽しい！」				
5/1(日) 演劇ホール	劇場って楽しい！	<p>インストゥルメンタル・バンドの栗コーダーカルテットを迎え、TV番組やCM等に提供した楽曲の数々を披露した。参加者からは、「普段から耳慣れた曲が多かったので落ち着いて鑑賞できた」「気軽に楽しむことができた」とコメントが寄せられ、今後の事業継続を希望する声もあった。</p> <p>本事業は、障がいがある方も参加できる事業の啓発活動として関係機関からの視察を積極的に受け入れており、今年度は熊本大学教育学部特別支援教育教員養成課程の学生ら44人を受け入れた。</p> <p>取材：熊日</p>	[自由] 500	344
演奏家派遣アウトリーチ事業				
9/5(月),7(水) 9(金), 26(月)~30(金) 12/6(火) 水俣第一小、久木野小、湯出小、子ども自立支援室、袋小、袋中、水東小、水俣第二中、緑東中、葛渡小	アウトリーチ事業 水俣市	<p>登録アーティストの池澤真子(ソプラノ)、小路永和奈(箏)、協力アーティストの春日香南(クラリネット)、亀子政孝(コントラバス)によるアウトリーチを実施。水俣市には吹奏楽部がなく、今回題材となった楽器を初めて見る児童も多かった。初めて聴く生の音に多くの児童達が聴き入り、演奏の合間のトークでは演奏家の質問に対し活発に発言をする様子も見られた。</p> <p>水俣第一中でもアウトリーチを予定していたが、新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖のため中止となった。</p>	無料	349
9/13(火), 10/7(金) 黒肥地小、多良木小、久米小	アウトリーチ事業 多良木町	<p>協力アーティストの春日香南(クラリネット)によるアウトリーチ。多良木町では今回が初めての開催となった。アウトリーチでは、クラリネットのリードの観察や、リコーダーと比較し、より豊かな表現ができることを、演奏を交えながら説明。子どもたちは興味深く鑑賞を楽しんでいた。</p>	無料	97
10/3(月), 4(火),11(火) 中央小	アウトリーチ事業 美里町	<p>美里町では初めての実施。中央小学校1~4年生の4コマを小路永和奈(お箏)、5・6年生の2コマを岡村彬子(メゾ・ソプラノ)が担当した。事前に提出されたリクエスト楽曲を学年ごとに対応するなど柔軟なプログラム作りがなされていた。ぜひ来年以降も実施してほしいとの声が多く挙がった。</p>	無料	166
10/3(月), 19(水) 八竜小、郡築小	アウトリーチ事業 八代市	<p>八竜小で春日香南(クラリネット)、郡築小で岡村彬子(メゾソプラノ)のアウトリーチを実施。八代市は今回が初めての実施。クラリネットを分解するシーンでは児童から歓声が上がリ、楽器に興味を持った様子だった。</p>	無料	76

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
10/25(火) ～27(木) 岡原小、上小、 免田小、深田 小、須恵小	アウトリーチ事業 あさぎ町	岡原小、上小、免田小にて亀子政孝（コントラバス）、深田小、須恵小にて若木麻有（オーボエ）のアウトリーチを実施。 それぞれのプログラムにおいて、児童たちが音楽に引き込まれていき、先生方からも継続して実施してほしいという声を多数いただいた。	無料	208
10/27(木), 28(金) 11/22(火), 28(月),30(水) 中原小、りんどうヶ丘小、市原小、南小国中	アウトリーチ事業 南小国町	登録アーティストの小路永和奈（箏）、池澤真子（ソプラノ）、山本亜矢子（ピアノ）によるアウトリーチ。児童・生徒は、新型コロナウイルス感染症対策により、演奏者から3～6 mの距離を取って鑑賞した。	無料	239
11/15(火), 22(火), 25(金),29(火) 田浦小、大野小、佐敷小、内野小、湯浦小	アウトリーチ事業 芦北町	協力アーティストの亀子政孝（コントラバス）、緒方愛子（ヴァイオリン）、登録アーティストの池澤真子（ソプラノ）、若木麻有（オーボエ）によるアウトリーチ。前年に引き続き、感染症予防対策をおこないながらの実施ではあったが、アーティストと児童が活発なやり取りを交わす様子が見られた。	無料	160
11/16(水) ～18(金) 産山学園	アウトリーチ事業 産山村	協力アーティストの亀子政孝（コントラバス）によるアウトリーチ。1～9年生までの全児童・生徒が参加した。小学部と中学部ではプログラムを少し変更。高校進学を機にバラバラになる生徒たちのために、中学部のアンコールでは「旅立ちの日」を演奏した。	無料	100
R5.1/18(水) 平井小学校	アウトリーチ事業 荒尾市	若木麻有（オーボエ）によるアウトリーチ。オーボエの美しい音色とともに、楽器の魅力を子どもたちに伝えた。演奏家が日頃行っているリードの作成工程についても紹介。リードを削る様子を間近で観察し、楽器作製に興味を持つ児童もいた。 取材：熊日、有明新報	無料	56
R5.2/8(水), 10(金),15(水) ～17(金) 益城中央小学校 津森小学校 飯野小学校, 広安西小学校 広安小学校	アウトリーチ事業 益城町	若木麻有（オーボエ）と春日香南（クラリネット）によるアウトリーチ。オーボエのリード作りを間近で見たり、クラリネットが徐々に小さくなる演奏を聞いたりした児童らは、感嘆の声を上げ、演奏家の奏でる音楽や話に夢中になっていた。 取材：季刊誌ほわいえ	無料	353
普及拠点事業 2) 計				2,148

Ⅲ 市民会館事業

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
あかちゃんとダンス！				
9/23（金祝） 市民会館 シアーズホーム 夢ホール	あかちゃんとダンス！	ダンスカンパニープロジェクト大山主宰の古家優里を講師に迎え、5か月～1歳半の乳児と、その保護者を対象としたダンスワークショップを開催した。参加者は終始リラックスした様子で、45分間楽しく身体を動かしていた。	500円	51
佐渡裕指揮シエナ・ウインド・オーケストラ				
12/10（土） 市民会館 シアーズホーム 夢ホール	佐渡裕指揮 シエナ・ウインド・ オーケストラ	世界的指揮者 佐渡裕氏による指揮、プロのウインドオーケストラ シエナ・ウインド・オーケストラによる吹奏楽公演。 吹奏楽らしい勢いのある楽曲のほか、多彩な表現で観客を魅了した。	[指定] S5,000円 A4,000円 B3,000円	1,321

期日 会場	事業名	概要	入場料 参加費 (円)	入場者 参加者 (人)
絵本のじかんだよ！				
R5.1/14（土） 市民会館 シアーズホーム 夢ホール ぴっころシート 2施設1里親 家族24人	絵本のじかんだよ！	NHK「みつけた！」の出演や舞台演出などで活躍する小林顕作による絵本の読み聞かせ公演を実施。出演者自ら選んだ絵本8作品を感情豊かに朗読した。設定座席数すべて完売し、多くの親子連れが公演を楽しんだ。 取材：熊日	[指定] おとな 1,000円 子ども 500円	1,200
響け！若い音楽の力				
R5.3/12（日） 市民会館 シアーズホーム 夢ホール	響け！若い音楽の力	県内の小中高生169名による合唱とオーケストラの演奏を披露。新型コロナウイルス感染症の影響による2度の中止延期を経て、今年度、本番を迎えることができた。 公演後半では、交響詩集「時の川」を作曲した熊本県出身の岩代太郎、指揮者の澤和樹、音楽監督の山崎崇伸によるトークセッションも行った。	[自由] 2,000円	571
市民会館事業 計				3,143

【点検・調査結果及び評価】

新型コロナウイルス感染症の影響で中止した事業もあったが、県内各施設や関係機関と連携し、実演芸術を担う人材の育成・確保を行う事業や、質の高い実演芸術を鑑賞する機会を県民に提供する事業を各種実施しており、事業計画通りに適正な運営がなされている。

3 施設の利用状況

施設名	開館日数	令和4年度計	令和3年度計	前年度比
		335	335	±0
コンサートホール	利用可能日数	270	297	▲27
	利用日数	206	137	69
	利用率	76.3	46.1	30.2
	入場者数	148,384	73,714	74,670
演劇ホール	利用可能日数	291	293	▲2
	利用日数	223	178	45
	利用率	76.6	60.8	15.9
	入場者数	98,591	54,482	44,109
大会議室	利用可能日数	303	299	4
	利用日数	160	95	65
	利用率	52.8	31.8	21.0
	入場者数	20,406	8,953	11,453
和室	利用可能日数	325	315	10
	利用日数	88	55	33
	利用率	27.1	17.5	9.6
	入場者数	1,857	507	1,350
音楽リハーサル室	利用可能日数	323	315	8
	利用日数	225	159	66
	利用率	69.7	50.5	19.2
	入場者数	16,416	4,222	12,194
演劇リハーサル室	利用可能日数	327	319	8
	利用日数	188	157	31
	利用率	57.5	49.2	8.3
	入場者数	14,765	4,213	10,552
第1練習室	利用可能日数	327	312	15
	利用日数	156	130	26
	利用率	47.7	41.7	6.0
	入場者数	10,166	3,132	7,034
第2練習室	利用可能日数	328	320	8
	利用日数	263	224	39
	利用率	80.2	70.0	10.2
	入場者数	6,527	4,650	1,877
第3練習室	利用可能日数	327	317	10
	利用日数	256	232	24
	利用率	78.3	73.2	5.1
	入場者数	8,150	3,452	4,698
その他の入場者数	入場者数	56,869	56,396	473
入場者数 合計		382,131	213,721	168,410

【点検・調査結果及び評価】

・令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、多くの催事が中止・延期を余儀なくされ、一時期イベントの開催制限等があったものの、施設利用率は、コンサートホール、演劇ホールともに令和元年度の水準まで回復した。また、コンサートホールの利用率は、部分利用の定着もあり、平成30年度以来4年ぶりに年間目標を達成した。

・令和3年度との比較では、感染対策を徹底したうえで、可能な限り催事が実施できるよう施設閉館を行わなかったため、全ての施設において利用率が上昇し、入場者数は約1.8倍に増加した。

【ホール部分利用実績】

(単位：件)

利用部分	コンサートホール		演劇ホール	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
ステージのみの使用	12	7	11	2
ステージ、1階（地階） 客席、ホワイエのみの使用	20	11	11	5
ホワイエのみの使用	23	6	3	0
合計	55	24	25	7

4 管理運営経費の収支状況

① 収入		
項目	内 訳	金額（円）
指定管理委託料等	管理業務受託収入、事業受託収入	422,555,000
基本財産運用収入	基本財産利息収入	800
特定資産運用収入	特別企画事業積立資産利息等	1,814
事業収入	創造拠点事業収入、普及拠点事業収入等	43,715,179
制作受託収入	制作受託収入、市町村負担金収入	9,470,000
広告料収入及び事業協賛金収入	広告料、協賛金	385,000
補助金等収入	団体助成金収入	46,518,841
寄付金収入	寄付金収入	12,020
雑収入	受取利息収入、雑収入	9,636,697
特定資産取崩収入	特別企画事業積立資産取崩収入等	35,000,763
前期繰越収支差額		52,036,217
合 計		619,332,331

② 支出		
項目	内 訳	金額（円）
管理業務支出	人件費支出、維持管理、物件費	356,327,901
文化事業費支出	創造拠点事業費、普及拠点事業費等	171,049,689
投資活動支出	退職給付引当資産取得支出、開館40周年記念事業準備資金取得支出等	41,666,634
財務活動支出	リース債務返済支出	4,374,384
次期繰越収支差額		45,913,723
合 計		619,332,331

【点検・調査結果及び評価】

- ・指定管理委託料について、県と（公財）熊本県立劇場との協定に基づいた（公財）県立劇場の管理運営費、文化事業費に充てており、事業運営は適正に行われている。
- ・国等の助成金や企業の協賛金等の指定管理委託料以外の収入確保に努め文化事業等に充当するなど、文化事業の充実にも努めた。

【使用料の収納実績】

(単位：円)

月	要収入額	収入済額	収入未済額	使用者への返還額
(R4) 4	12,728,720	8,669,440		
5	14,040,120	17,427,010		
6	18,073,940	15,750,660		
7	15,570,150	15,004,360		
8	13,962,000	15,724,230		
9	14,795,890	14,188,260		
10	15,601,770	17,134,510		
11	17,641,230	16,808,290		
12	15,697,080	16,742,650		
(R5) 1	11,607,760	11,594,440		
2	9,603,560	9,952,570		
3	21,141,720	21,354,890		
(4)	0	112,630		
年度計	180,463,940	180,463,940	0	うち使用者に返還 15 件 761,530 円

【点検・調査結果及び評価】

- ・年間を通して、使用許可及び収納事務は適正に行われ、収入未済なし。
- ・施設利用のキャンセルに伴う返還業務も多数あったが、適切に処理されている。

5 利用者調査結果

(主催者)

調査 実施 内容	調査年月日	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
	調査方法	施設利用者を対象にアンケート用紙への記入方式で実施			
	調査対象数	35 団体			
評価項目 (4段階評価)				満足度 (平均値)	
				4年度	3年度
1	利用料金について (4:安い 3:やや安い 2:やや高い 1:高い)			2.62	2.96
2	利用手続きについて (4:円滑 3:おおむね円滑 2:やや煩雑 1:煩雑)			3.58	3.74
3	フロア職員の接客態度や対応について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.88	3.88
4	ステージ職員の接客態度や対応について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.85	3.88
5	舞台・音響・照明について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.85	3.88
6	また利用したいと思うか (4:是非利用したい 3:利用してもいい 2:あまり利用したくない 1:もう利用したくない)			3.97	4.00
計				3.63	3.72
利用者からの 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・前日リハーサルや当日において非常に柔軟に対応いただき、スムーズに進行できた。 ・車いすの方へのトイレ休憩対応など、様々なアドバイスをいただき感謝している。 ・音の響きの良さやステージの広さに感動した。 ・相談等も親身になって聴いていただき、要望に沿う対応をしてもらえた。 				
【調査結果及び評価】					
・例年同様の結果であり、利用者に寄り添った運営に努めており、利用者の満足度は概ね高いと評価できる。					

(入場者)

事業名	回答率 (%)	満足度 (%)
ホワイエサロンコンサート (全 4 回)	58.9	99.0
小曽根真 featuring No Name Horses	24.4	99.6
第 64 回熊本県芸術文化祭スペシャルステージ ONE PIECE×人形浄瑠璃清和文楽「超馴鹿船出冬桜」	10.9	99.0
パフォーミングアーツ・セレクション in Kumamoto	30.7	92.4
ベルリン国立歌劇場管弦楽団	19.1	97.0
星の王子さま	19.0	97.6

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
地元の音楽団体より、コンサートホールでの定期演奏会での演奏中、天井の照明機材から「カチッ、カチッ」と音が終始聞こえ、とても気になったとの意見があった。	調査の結果、シーリングに吊ってある照明スポットから弾発音がすることが判明。点灯で熱上昇が起こり、金属の枠組が温められ膨張し、各部位が接触したことが原因だった。業者によるシーリングライト 48 台と第 3 フロントサイドライト 12 台 (計 60 台) のスポット部品交換を行った (無償、保守点検範囲内)。その結果、弾発音が劇的に減少し、音楽団体からも「気にならなくなった」との回答を得た。
【調査結果及び評価】 ・利用者からの意見に対して、組織内で情報共有を行うとともに、適切な対応をとることで利用者の利便性に配慮することに努めている。	

7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
特になし	

8 その他

熊本県立劇場条例に定める公の施設の設置目的等の達成度

【評価の基準】

- A：持続・更なる向上が期待できる状態
- B：ステップアップが望まれる状態
- C：見直しが必要な状態
- D：抜本的な見直しが必要な状態

【選定の特例（非公募）を適用する目的となった重点的な評価項目の達成度】

（1）人材の育成、確保

■評価項目①：実演芸術を担う人材の育成、確保

評価	理由
A	<p>令和元年～5年度の重点事業として、県内公共ホール職員の育成に特化したプログラムを立ち上げ、人材育成事業を強化。県内の実演芸術を担う人材を育成・確保するため、「劇場人材育成プログラム」により、アートマネジメントや舞台技術分野に関する研修を実施し、公共ホール職員の知識や技術の専門性向上を図った。</p> <p>参加者が希望する研修を設定することで、研修で得た知識・技術を実践に活かすことができ、参加者の満足度は高く、様々なキャリアを持つ県内公共ホール職員のスキルアップにつながっている。</p> <p>将来の実演芸術を担う青少年を育成に関しては、音楽団体と連携し「ジュニアオーケストラ事業」を開始し、小中学生を対象に管弦楽器の演奏機会を提供。</p> <p>また、伝承芸能を保存し継承するための支援では、清和文楽と人気漫画を題材とした新作制作により、子どもたちの参加も多く他地域の伝統芸能に触れる機会となり、さらに演出・舞台監督と一緒に舞台を作る経験ができ、次世代育成の取組につながった。</p>

（2）関係機関等との連携

■評価項目②：実演芸術の振興のための県内各施設や関係機関との連携

評価	理由
A	<p>県内全域における芸術鑑賞機会の促進及び実演芸術の振興を図るため、県内公共ホールとのネットワークを活用し、県内各地で音楽や演劇等の公演を実施。</p> <p>県立劇場が提案する公演だけでなく、市町村が希望する演目や出演者などを聞き取り、オーダーメイド型企画を展開したことで、市町村の開催希望が増加し、県内広域における芸術鑑賞機会の創出につながった。</p> <p>県の実演芸術の中核施設として、県内公立文化ホール等へのスタッフ派遣指導や受入研修などにより、県立劇場が持つノウハウや知識・経験・技術を提供し、県内の舞台芸術のレベルアップを図った。</p> <p>また、熊本市民会館の自主事業制作や県内公立文化ホールからの企画制作に対する問い合わせや相談等に応じ、アーティストの選定やプロモーターの紹介し制作を支援。豊富な知識やネットワークを活かし、県内文化団体、教育委員会及び学校などの関係機関と連携した催事等の企画運営を積極的に行うなど、本県の実演芸術の振興に取り組んだ。</p>

【運営方針に定める項目の達成度】

(1) 質の高い事業の実施

■評価項目①：質の高い実演芸術に触れる機会の提供

評価	理由
A	<p>運営方針や県立劇場へのニーズに基づき、さらにコロナ禍の影響等を考慮し、前年度の10月に年間公演プログラム案を策定。個々の事業については目標や目的、広報計画等を盛り込んだ実施計画書を作成し、事業を推進した。</p> <p>令和4年度は、県立劇場開館40周年であったため、ベルリン国立歌劇場管弦楽団によるクラシックコンサート、世界的ジャズピアニストが率いるビックバンドの演奏、人気漫画とのコラボによる清和文楽の新作公演など多彩な大型企画を実施。</p> <p>コロナの影響が心配されたがすべて実施でき、クラシック、ジャズ、伝統芸能など県民が良質な音楽に触れる機会を提供した。</p>

■評価項目②：特色ある自主企画事業の実施

評価	理由
A	<p>清和文楽と人気漫画 ONE PIECE のコラボ公演について、3年以上の制作期間を経て「熊本県芸術文化祭スペシャルステージ」で上演。県重要無形文化財の清和文楽の認知度向上や担い手育成、新たなファン層の開拓に寄与する企画で、山鹿灯籠踊りや宇土雨乞い大太鼓等、熊本の文化芸能が一堂に会する舞台となった。</p> <p>県内の子どもたちも多く出演しており、他地域の伝統芸能に触れ、様々な分野の交流ができ、次世代育成につながった。</p> <p>また、条例改正でホールの部分利用が可能となり、令和4年度からホワイエのみを使用した新シリーズ「ホワイエサロンコンサート」を開始。コンサートホールホワイエを会場とした室内楽コンサートで、県出身・在住演奏家を積極的に起用。間近で生の演奏や公演を楽しむことができ、料金も安価なためより気軽に音楽や舞台芸術に触れる機会を提供した。</p>

(2) 普及啓発

■評価項目③：児童、生徒、学生等に対する質の高い実演芸術に触れる機会の提供

評価	理由
A	<p>(公財) 県立劇場主催の文化事業において、25歳以下の学生料金の設定や入場制限がある公演では託児サービスを提供している。</p> <p>また、コロナ禍で減少した音楽に触れる機会創出のため、親子向けの催事や子ども向けのワークショップの開催等の積極的な取組や、教育委員会と連携して学校への広報などを行い、児童生徒などが実演芸術に触れる機会の創出に努めている。</p> <p>特に、文化庁の劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業の採択を受けた「ベルリン国立歌劇場管弦楽団」公演では、小学4年生から18歳までの青少年300人を無料招待する「特別子ども無料招待」を実施し、25歳以下の学生を含め400人近い若年層が鑑賞し、子どもたちに質の高い実演芸術に触れる機会を提供した。</p>

■評価項目④：実演芸術の理解を一層深めるための付随事業の実施

評価	理由
A	<p>(公財)県立劇場主催公演の際は、アフタートーク等の付随事業の実施等、公演についての鑑賞者の理解が深まるよう努めている。県立図書館の協力を得て、公演をより楽しむための図書リストを配布。ホワイエに当該図書の展示コーナーも設け、興味を引くようなさまざまな工夫が見られる。</p> <p>子どもを無料招待した公演では、事前に劇場職員による公演に関する知識を含め鑑賞マナーのレクチャーを行ったことにより、子どもたちから「曲のことやホールでのマナーについて勉強できてよかった」との感想が多く寄せられ、実演芸術に関する理解を深める機会を提供した。</p>

■評価項目⑤：アウトリーチ事業の実施

評価	理由
A	<p>小中学生を対象とした「演奏家派遣アウトリーチ事業」は、10市町で計62コマ(前年：7市町で計49コマ)と過去最多を実施。実施にあたっては学校、市町教育委員会、ホールと連携して進めた。また、中長期的にアウトリーチ事業を増強しており、アウトリーチ事業を担う外部コーディネーターの確保・育成やスキームの見直しを実施している。</p> <p>このほか人吉市の小学校で、令和2年7月豪雨被災者に向けたアウトリーチや、知的・発達障がい児(者)に向けたプログラム「劇場って楽しい!!」を実施している。</p>

■評価項目⑥：国内外で活躍する熊本県出身芸術家等との連携

評価	理由
A	<p>「ホワイエサロンコンサート」シリーズ、「熊本県芸術文化祭スペシャルステージ」、「演奏家派遣アウトリーチ事業」、「行くぜ!劇場探検隊」、「あかちゃんとダンス!」、県立劇場開館40周年記念事業での動画「動く劇場~5 Stories」等の事業において、県在住・出身アーティストに出演を委託。公演やアウトリーチのほか、本県の実演芸術の振興全般にわたって、国内外で活躍する熊本県出身芸術家等との連携に積極的に努めている。</p> <p>「パフォーミング・アーツ・セレクション」は県出身の舞踊プロデューサー唐津絵理氏と協働で実施し、唐津氏は本公演を含むツアーの成果により、文化庁芸術選奨文科大臣賞を受賞した。</p>

■評価項目⑦：日常的に人々が集い自由に文化芸術に触れることができるための工夫

評価	理由
A	<p>平成音楽大学や熊本デザイン専門学校、熊本大学教育学部と連携協定を結び、文化芸術に関する人材育成に取り組んでいる。</p> <p>また、コロナ禍で人々が集う機会が制限されていたなか、40周年記念動画「動く劇場」を制作・公開。県内の世界遺産などに登録されている地域（三角西港、万田港、阿蘇など）で、県出身アーティストのパフォーマンス動画を制作し、「ケンゲキアートチャンネル」で配信し、オンラインで熊本の文化芸術に触れることができるよう工夫している。</p> <p>「明後日朝顔プロジェクト」では、土づくりから朝顔の種まき、水やり、種の収穫、蔦を使ったリースづくりを通して、熊本学園大学付属敬愛幼稚園や熊本デザイン専門学校との地域連携を創出した。</p>

(3) 経営の安定化

■評価項目⑧：協賛企業の確保等、多様な財源の確保

評価	理由
A	<p>文化事業の財源に関しては、外部資金を戦略的に捉え、積極的な獲得・活用に努め多様な財源を確保している。</p> <p>文化庁の「地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業」のほか、「劇場・音楽堂間ネットワーク強化事業」、「共同制作支援事業」で約3,660万円の助成金を獲得。採択率が62%程度と厳しいものもあるなか、これまでの申請ノウハウを活かし資金獲得している。そのほか、全国公立文化施設協会アートキャラバン助成事業にも参加したほか、県MICE等誘客促進事業の助成金も活用し、文化事業の資金に充て、県民に対し質の高い舞台芸術に触れる機会を提供した。</p> <p>また、法人備品を貸し出しており、営業活動の成果も見られ、令和4年度は9,416千円（前年度比118%）と過去最高の雑収入を得ている。</p>

■評価項目⑨：公演実施者及び鑑賞者の拡大に向けた取組の実施

評価	理由
A	<p>チケット販売については、広報計画を立て公演の特性に鑑みた営業活動を行い、販売拡大に取り組んでいる。また、コンシェルジュサービスでは、必要により専属のコンシェルジュを配置し、様々な要望に対して丁寧に対応し公演事業者からも高い評価を受けている。</p> <p>SNSを活用し劇場の活動の発信や季刊誌を発行し、劇場の文化事業を広く県民に紹介し、初心者呼び込むとともにリピーターを増やすため積極的に行い、鑑賞者の拡大に向けた取組が行われている。</p> <p>令和元年度から主催事業のチケット先行予約販売を実施（令和5年3月末時点11,660人登録、令和4年3月末比4,265人増）、インターネットからのチケット販売システムにより、鑑賞者の利便性の拡大を図った。</p> <p>令和3年度からホールの部分利用が可能となり、広報誌や劇場ホームページによる利用促進を図ったところ、施行直後から利用者の関心も高く、令和4年度のホール部分利用は80件（令和3年度比49件増）の実績をあげた。</p> <p>オンライン配信の増加に伴い、2ホールや大会議室にインターネット回線の設置要望が多くあり、令和4年度からオンライン回線の環境を整備し、施設利用者の利便性向上につながっている。</p>

(4) 安全管理

■評価項目⑩：災害時等における事業継続計画の策定、避難訓練等の実施

評価	理由
A	施設の特性を踏まえて策定された「熊本県立劇場 危機管理マニュアル」の充実を図り、災害発生時には、財団職員のみならず催事主催者とも協力体制がとれるよう運用を行っており、定期的な訓練によってスタッフへの徹底を図るとともに、訓練等により得られた知見に基づき、マニュアル内容の点検や見直しを随時行っている。 また、自然災害や感染症等の緊急事態発生時の態勢を見直すとともに、熊本県立劇場事業継続計画書に事業継続態勢について明記した。

■評価項目⑪：災害等の非常時における避難者への対応

評価	理由
A	従来の危機管理マニュアルを改訂し、災害等の非常事態で帰宅が困難になった者や緊急に避難が必要となった者に対し、施設の一部提供や情報の提供などの支援を臨機応変に対応することとしている。 また、令和2年9月の台風10号の際の人吉市から広域避難先として避難者を受け入れた経験から、緊急時の支援職員配置や受け入れ体制等、自治体からの要請があれば対応は可能であり、危機管理マニュアルと併せて職員に周知している。

(5) 適切な評価基準の設置と事業評価の実施、翌年度計画への確実な反映

■評価項目⑫：自己評価の実施

評価	理由
A	文化事業ごとにPDCAサイクルに則った事業評価シートを作成し、当該事業に課せられた評価項目（全13項目から抽出）の達成状況を評価。さらに自主性、芸術性、広報・集客、採算性等の観点から事業全体を担当者・グループで評価し組織的に対応している。改善策の検討と今後の取組方針（継続・拡大・縮小・廃止等）をもとに、課題を明確にして次年度以降の企画に反映している。 施設利用者や入場者へのアンケートを行い、ホール利用者の満足度と改善要望事項を個別に把握し、管理運営に反映している。

■評価項目⑬：県の事業評価結果の事業計画への反映

評価	理由
A	前年の県の事業評価結果で改善が必要とされた事項はなく、全体的に更なるレベルアップのための取組を講じるよう努めている。